
アルテック 新型マルチヘッド方式昇華型デジタルフォトプリンタ「MH250」を来年3月より販売開始

アルテック株式会社（東京都新宿区 代表取締役社長 張能 徳博 以下「アルテック」）では、この度、ミニラボプリント市場向けにコンパクトで世界最高速のマルチヘッド方式昇華型デジタルフォトプリンタ「MH250」を開発し、2011年3月より国内外で販売を開始する。

アルテックは、国内外の写真プリント市場で、現在、主にフォトキオスクなどに向けた昇華型デジタルフォトプリンタ「CXシリーズ」の販売を展開している。新型プリンタは、お店プリントなどで大量にプリントするミニラボ市場に向けたもので、従来の中型ミニラボ機とほぼ同じ約1500枚/時間（2.5秒/枚、PCサイズ換算）の超高速プリントが可能で、設置面積（幅55cm×奥行42cm×高さ73cm、側面扉開放時の幅は67cm）もプリント能力に比べて大幅にコンパクト（従来中型機と比べて約1/4）なことが特徴である。

写真プリント業界では、化学薬品を用いる従来型のミニラボ機が広く普及してきたが、近年、環境への配慮・省エネなどの観点から化学薬品を使用しないドライ化のニーズが高まっており、インクジェット方式や昇華方式が普及しつつある。そのなかでも特に、アルテックの新型プリンタは大量プリントのニーズに応えたものである。「MH250」は、一回のリボン・紙セットの交換で約1200枚（PCサイズ換算）までのプリントが可能で、6インチ幅であれば、4×6、6×8、6×10、パノラマサイズなど、さまざまなサイズの写真がインクリボンや紙を交換することなくプリント出来ることも特徴である。

MH250プリンタの販売価格は1台60万円（税抜き）を予定しており、従来型のミニラボ機と比べると大幅に安く、既設のミニラボ機からの置き換え需要を狙って市場に投入する。消耗品であるリボン・紙セットも既存の昇華型プリンタ用セットに比べると大幅なコストダウンが見込まれ、これまでの銀写真プリントとの価格競争力も十分にある。国内のみならず、海外への積極展開を考えており、写真プリント業界で一気にドライラボ化への転換を図るように市場に働きかけていく。アルテックでは、初年度5千台の販売を予定している。

【IRに関するお問い合わせ】

アルテック株式会社

広報・IR室 高橋/木根 潤

TEL：03-5363-0922 /FAX：03-5363-0940

【製品に関するお問い合わせ】

アルテック株式会社

デジタルプリンタ事業部 加藤/香西

TEL：03-5363-3005 /FAX：03-5363-0945

E-mail:kouzai@altech.co.jp